



阪西 敦子（さかにし あつこ）「ホトトギス」同人 「円虹」^{えんこう}所属
昭和五十二年神奈川県生れ。祖母の勧めで七歳より作句、稲畑汀子選の「ホトトギス」児童・生徒の部で投句を開始。第二十一回日本伝統俳句協会新人賞受賞。日本伝統俳句協会理事。
句集『金魚』（第二回稲畑汀子賞奨励賞（句集部門））。アンソロジー『俳コレ』『天の川銀河発電所』入集。

ラグビーの空の限りを闘へり



対馬 康子（つしま やすこ）「麦」^{むぎ}会長 「天為」^{てんい}最高顧問
昭和二十八年香川県生れ。昭和四十八年「麦」入会。山口青邨、中島斌雄、有馬朗人に師事。
平成二十七年文部科学大臣表彰。第十回桂信子賞受賞。現代俳句協会副会長。
句集『愛国』『純情』『天之』^{てんし}『竟鳴』^{きやうめい}など。

まだ見えぬ嬰のまなざしならば雪



鷗田 智哉（ときた ともや）「オルガン」同人
昭和四十四年千葉県生れ。「魚座」「雲」を経て現在に至る。
句集『こゑふたつ』（俳人協会新人賞）『風と円柱』（田中裕明賞）『エレメント』。

耳 あてを 外し 頭で 考へる



能村 研三（のむら けんぞう）「沖」^{おき}主宰 NHK学園講師
昭和二十四年千葉県生れ。昭和四十六年創刊間もなくの「沖」に投句、福永耕二の指導を受け
る。俳人協会理事。俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会会長。日本ペンクラブ会員。
日本文藝家協会会員。日本現代詩歌文学館評議員。千葉県俳句作家協会会長。市川市俳句協会
会長。句集『鷹の木』（俳人協会新人賞）『騎士』『海神』『磁気』『滑翔』『肩の稜線』『催花の
雷』『神鵲』（俳句四季特別賞）。

歳旦の竹の精気を貰ひけり

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作を選んでいただきました